

集英社発行 「ベランダで実る 野菜をつくろう！」vol.5&6 掲載記事

表紙



掲載記事

食の検定協会認定の
テキストブック。
各級ごとに出版。
2625円～

食の検定

合格者には「合格证」が。
食の検定・食農級は4者択一のマークシート方式試験。上記試験の1級のみ、小論文試験と提出課題が加わります。3級から1級まで、100点満点で採点。3級は80点以上、2級と1級は70点以上で合格。民間資格ですが、合格者には写真のような「合格证」が与えられます。

この検定は、生きる上で不可欠な食の基本知識を、生産から消費まで横断的に捉え、学問として提示し、検定という手法を通して、国民の誰もが気軽に参加・学習する機会を提供するもの。

食の検定は、生産から消費まで横断的に学び修得する食の検定。生産から消費までを横断的・段階的に学び修得する食の検定。食に関する理解を深めることを目的としています。3級から1級の「食農級」は、私たちの日常に、直接的・間接的に関わりが深い「農」をテーマに展開します。

食育に国民一人ひとりが参加、実践できるために、食育推進に取り組む人の力になるために、と誕生した検定形式の食育事業、それが「食の検定」です。

この検定は、生きる上で不可欠な食の基本知識を、生産から消費まで横断的に捉え、学問として提示し、検定という手法を通して、国民の誰もが気軽に参加・学習する機会を提供するもの。

食の検定は、生産から消費まで横断的に学び修得する食の検定。生産から消費までを横断的・段階的に学び修得する食の検定。食に関する理解を深めることを目的としています。3級から1級の「食農級」は、私たちの日常に、直接的・間接的に関わりが深い「農」をテーマに展開します。

食の検定は、生産から消費まで横断的に学び修得する食の検定。生産から消費までを横断的・段階的に学び修得する食の検定。食に関する理解を深めることを目的としています。3級から1級の「食農級」は、私たちの日常に、直接的・間接的に関わりが深い「農」をテーマに展開します。

1級

受検料：7350円
食の検定・食農1級テーマは食農2級までで得てきた知識を日々の生活や仕事で実践として適用していくこと、および地域や職場のリーダーに必要な知識を問います。
食農2級までは、消費する立場として農産物という食材を切り口にした生産や流通、消費について取り上げていましたが、1級では1歩踏み込み「農業」そのものへの興味・関心を問います。
また、知識としてだけ終わらないために、農業に配慮した献立の実践、主催者として食育活動を推進する際の理論も範囲に含まれます。これらを行うための、マークシート方式の筆記試験に加え、小論文や課題提出によって試験は構成されます。
【おもな取得層】
☆地域や社会のリーダーとして活躍する人
☆食や農に関わる環境で、指導者・責任者の立場にある人

2級

受検料：5250円
食を選択し、消費するすべての生活者や、食・農の仕事に専門にする人、また家庭や社会で子供たちや次の世代へ食育・食農教育を行う立場の人は知っておきたい事柄を問う試験です。
日本の食農事情に始まり、食育実践のために不可欠な知識、国内に流通する農産物の特性等、食農にまつわる幅広い知識が対象です。これらの知識の修得は、食の選択力を向上させ、より安全で健康的な食生活を実現する礎に。食や農に関わる仕事に携わる人は、2級までの取得をまずめざしましょう。
【おもな取得層】
☆食や農に関心の高い生活者
☆食や農の仕事に従事している人

3級

基本級(3級) 受検料：3150円
3級テーマは「畑から食卓まで」。
生産から消費まで農作物の基礎的知識と食育にまつわる基礎的な事項を問います。
日本人と農作物の歴史、農作物の特性、流通や表示、米をはじめとした穀類、大豆などの豆類、そして野菜と果物の、それぞれの種類や特徴、栄養価、栽培など、消費生活を送る上で基礎的な事項を取り上げます。体の仕組みや栄養素の関わり、2005年に施行した「食育基本法」やその背景となる現代日本の食生活など、食にまつわる基本事項も対象。受験地によってその地域の農作物についても一部出題されます。
【おもな取得層】
☆消費生活を送るすべての人＝「国民検定」をめざしている人
☆食や農に関与する仕事に就こうとしている人、就いている人
☆幼児・義務教育に従事する人

イラスト/石川ともこ

食の検定協会
〒103-3261 東京都千代田区一丁目22-1 セントラルビル5階
TEL 03-3261-4919
FAX 03-3556-8721
E-mail info@syokuken.jp
URL www.syokuken.jp
★実施要項などは、HPなどで確認を。